

# 平成28年（2016）12月 入域観光客数概況

12月の観光客数は、66万3,000人  
対前年（H27）同月比 +4万9,400人、+8.1%  
～12月の過去最高を更新、国内客の伸びが全体を牽引した～

## 入域状況

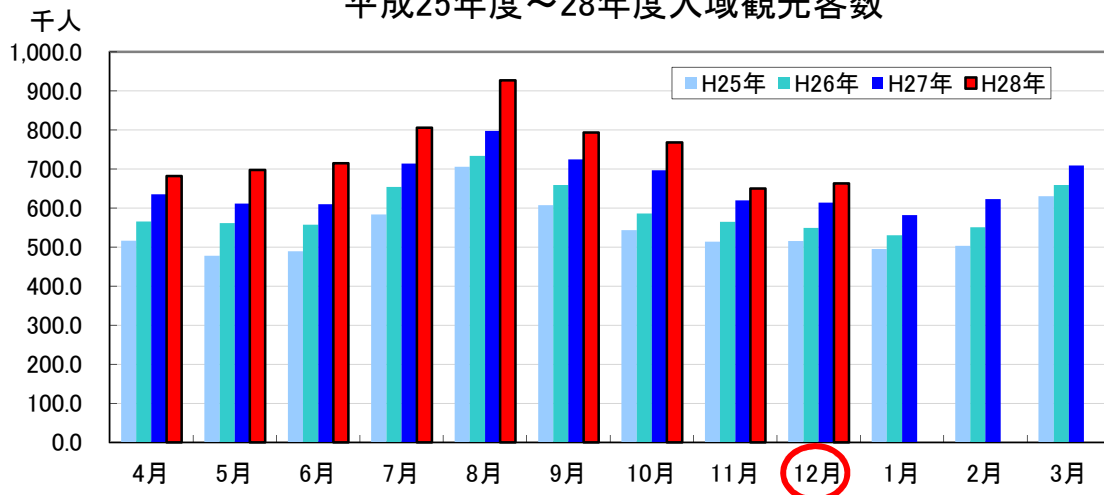
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	525,800 人	485,300 人	+ 40,500人	+ 8.3%	79.3%
外国客	137,200 人	128,300 人	+ 8,900人	+ 6.9%	20.7%
合計	663,000 人	613,600 人	+ 49,400人	+ 8.1%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	525,800 人	485,300 人	+ 40,500人	+ 8.3%	80.7%
外国客	125,800 人	115,200 人	+ 10,600人	+ 9.2%	19.3%
合計	651,600 人	600,500 人	+ 51,100人	+ 8.5%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

12月は、年末年始の旅行需要増に加えて、各旅行会社における旅行商品の販売状況が好調だったことや、引き続き、各航空会社による航空路線の拡充が夏季から継続していること等から、前年を上回った。

1月は、各航空会社における予約状況が良好なこと、各旅行会社による旅行商品販売取り組み強化の動きがあることや、引き続き、航空路線の拡充が継続すること等から、堅調に推移する見込み。

## 外国客 入域状況

12月は、海路客は、前年に比べて大型のクルーズ船の寄港回数が減ったこと等により、中国及び香港で減少したものの、航空路線の拡充があった韓国を中心に空路客が増加したことにより、全体としては前年を上回った。また、先月に引き続き、シンガポールー那覇間チャーター便が好調で、同国からの入込増加に寄与した。

1月以降は、春節（旧正月）の旅行需要増に加えて、2月には新規路線となるタイ・バンコクー那覇間の新規就航が予定されていること等により、空路客を中心に好調に推移する見込み。

## 国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	259,600 人	236,800 人	+ 22,800人	+ 9.6%	49.4%
関西方面	104,400 人	98,000 人	+ 6,400人	+ 6.5%	19.9%
福岡方面	69,000 人	64,900 人	+ 4,100人	+ 6.3%	13.1%
名古屋	43,900 人	39,100 人	+ 4,800人	+ 12.3%	8.3%
その他	48,900 人	46,500 人	+ 2,400人	+ 5.2%	9.3%
合計	525,800 人	485,300 人	+ 40,500人	+ 8.3%	100.0%

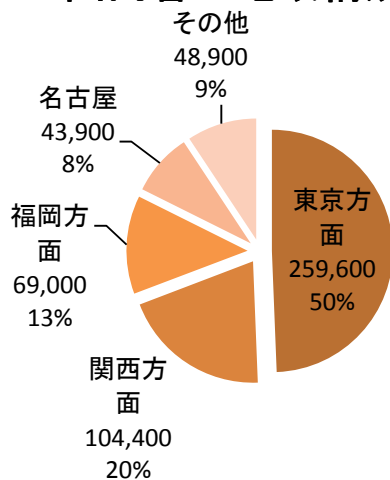
※国内海路客2,500人を含む(鹿児島2,400人、関西100人)

## 外国客 国籍別入域状況

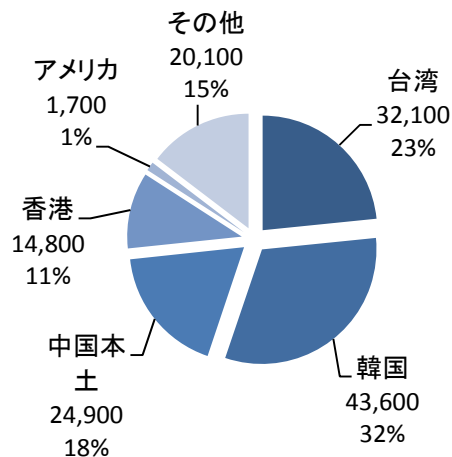
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	32,100 人	32,100 人	24,000 人	+ 8,100人	+33.8%	23.4%
韓国	43,600 人	43,600 人	35,100 人	+ 8,500人	+24.2%	31.8%
中国本土	24,900 人	24,900 人	29,800 人	△ 4,900人	△16.4%	18.1%
香港	14,800 人	14,800 人	16,000 人	△ 1,200人	△7.5%	10.8%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	1,700 人	△ 0人	+0.0%	1.2%
その他	20,100 人	8,700 人	21,700 人	△ 1,600人	△7.4%	14.7%
合計	137,200 人	125,800 人	128,300 人	+ 8,900人	+6.9%	100.0%

### 国内客の地域構成比



### 外国客の国籍構成比



## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	24,200 人	24,200 人	+35.2%	22.7%	7,900 人	7,900 人	+29.5%	25.7%
韓国	43,600 人	43,600 人	+24.2%	40.9%	0 人	0 人	—	0.0%
中国本土	14,200 人	14,200 人	△4.7%	13.3%	10,700 人	10,700 人	△28.2%	34.9%
香港	14,800 人	14,800 人	+8.0%	13.9%	0 人	0 人	皆減	0.0%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	+13.3%	1.6%	0 人	0 人	皆減	0.0%
その他	8,000 人	7,900 人	+17.6%	7.5%	12,100 人	800 人	△18.8%	39.4%
合計	106,500 人	106,400 人	+18.5%	100.0%	30,700 人	19,400 人	△20.1%	100.0%

## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

12月は、年末年始の旅行需要増に加えて、各航空会社による羽田及び成田路線の提供座席数が増加したことや、旅行商品の販売状況が好調だったこと等から、前年を上回った。

1月は、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて各航空会社による航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

### 大阪

12月は、各旅行会社において旅行商品の販売状況が好調であったことや、伊丹及び神戸那覇路線を中心に入込が増加したこと等から、前年を上回った。

1月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

### 福岡

12月は、各旅行会社において個人・団体ともに旅行商品の販売状況が好調だったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

1月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること等から、好調に推移する見込み。

### 名古屋

12月は、各旅行会社において団体を中心とした旅行商品の販売状況が良好だったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

1月は、団体旅行を中心に予約状況が良好なこと、各旅行会社の連携による沖縄PRの展開・販売取り組み強化の動きや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

### 台湾

12月は、スポーツ関連旅行商品等の販売状況が好調だったことに加えて、引き続き、前年同月に比べて台北－那覇路線の航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港があったこと等から、空路・海路客ともに増加、前年を上回った。

1月は、春節時期の旅行需要の高まりに加えて、引き続き、航空路線の拡充やクルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

### 韓国

12月は、個人旅行商品の販売状況が良好だったことや、アジアナ航空及びジンエアーの釜山－那覇路線の増便があったこと等から、空路客を中心に増加、前年を上回った。

1月は、旧正月時期の旅行需要の高まりに加えて、各航空会社による販売取り組み強化の動きや、引き続き、航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

### 中国本土・北京

12月は、他方面との競合があったことや、先月に引き続き、中国国際航空の天津－那覇路線の欠航を含む航空路線の縮小による影響があったこと等から、前年を下回った。

1月は、春節時期の旅行需要の高まりに加えて、天津－那覇路線の運航再開が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

### 中国本土・上海

12月は、中国東方航空の杭州－那覇路線の欠航による影響があったこと、前年に比べて大型のクルーズ船の寄港回数が減ったこと等から、前年を下回った。

1月以降は、春節時期の旅行需要に伴う青島－那覇間のチャーター便や、1月中旬から杭州－那覇路線の運航再開が予定されていること、2月からは上海及び広州発クルーズ船の寄港が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

### 香港

12月は、個人旅行を中心に良好だったこと、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、空路客は増加したものの、前年に寄港していた香港発大型クルーズ船の寄港が今回なかったことから、海路客で皆減となり、全体としては前年を下回った。

1月は、春節時期の旅行需要に伴う香港－那覇間のチャーター便や、オプション付き旅行商品販売が良好であること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。